



め た せ こ い あ

至 創 努 校 訓
誠 造 力

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856) 78-0029 FAX (0856) 78-0742

HP アドレス <http://yoshika.ed.jp/>

公設塾について

吉賀高等学校 校長 熊谷修山

本年度から「よしか塾 NEXT」が開設され、この6月から運用が開始されました。この公設塾は、吉賀町の支援で設立されたもので、運営は吉賀町から委託を受けた吉賀町内の企業・株式会社クロスラボさんがされます。クロスラボの松井義博代表は、先日の新聞でも取り上げられていましたが、吉賀町内で小学生を対象としたプログラミング教室「Coder Dojo 吉賀」を主宰されている方です。

さて、公設塾の主目的ですが、もちろん吉賀高校生の進路実現の支援です。本年度はスタートしたばかりで3年生の進学希望者が中心になりますが、確実に志望校合格ができるように支援していただきます。前号でも書きましたように、吉賀高校の授業は対話的な要素が増えていて、それだけに自分一人で行う家庭学習の重要度が増してきています。その中間の、具体的には、生徒が各自の学習を進める上で、学習内容についてはもちろん学習方法などについての個別の指導・助言が公設塾の役割になります。指導をされるのは、重点教科として英語は熊谷末櫻先生、数学は桐田久喜先生で、生徒はその他の教科についても基本的な事項について指導を受けられます。このような塾での個別指導という方法は、TVで宣伝しているような大手の塾でも取り入れられていて、時代の流れでもあります。

ところで、吉賀高校は小規模校の利点として、個別指導に力を入れています。県外募集で、吉賀高校のこの個別指導の様子などを説明しますと、塾のようですねとよく言われます。それならば、わざわざ公設の塾を作る必要はないではないかという意見もあると思いますが、そこで「公設」ということの重要性が出てきます。「公設」であるということで、学校とその塾とが連携できるということです。連携できるからこそ、学校の個別指導と塾の個別指導がつながりを持ちます。さらには学校の授業と生徒各自の家庭学習とがつながりを持ち、そのことで生徒が今何をすべきかということが明確になります。また、進路指導においても、学校と塾が連携して同じ一つの方向性を持つことで、生徒は迷いなく進路目標の実現に向かって歩を進めていくことができます。実際に、公設塾には吉賀高校と定期的に協議の時間を持って、連携を大切にしてもらっています。吉賀高校としても、連携を大切に、生徒の進路実現が確実なものとなるよう進めていきたいと考えています。

写真パネルをご寄贈いただきました

東京吉賀会の元理事で、2016年にお亡くなりになった尾崎友保先生の写真パネルをご家族の方からご寄贈いただきました。尾崎先生は、吉賀町広石のご出身で、歯科技工士として歯科医療に携わる傍らで、国立公園写真コンクールで特選・環境庁長官賞を受賞されたり、全日本写真展で入選されるなど、山岳写真家としてご活躍なさった方です。ご寄贈いただいた写真は、雄大な山の写真で、高校事務室前と図書館への階段の踊り場に飾らせていただきました。ご寄贈いただいたご家族様に心より感謝申し上げますとともに、謹んで尾崎先生に哀悼の意を表します。

《上》「雲湧く夏の鷺羽岳」《下》「残雪の五竜岳」



サッカー部 フットサル中国大会出場！

7月2日（日）岡山市六番川水の公園体育館において、第4回全日本ユースフットサル大会中国地域大会が開催され、吉賀高校サッカー部は島根県代表として参加しました。

昨年度同様に仙台市で開催される全国大会に進むためには、二連覇しなければなりませんでした。予選リーグでは岡山県第2代表のアクート岡山（クラブチーム）を8対3、鳥取県代表の米子松蔭高校を5対2で破り、決勝戦に進みました。決勝戦の相手は岡山県第1代表の作陽高校、一昨年度の全国覇者との対戦となりました。

会場には吉賀高校サッカー部サポーターの会の方々をはじめ、吉賀町出身の山陽・四国在住者の方々など多数応援に駆けつけていただき、大歓声の中で試合が始まりました。立ち上がりは、相手の勢いあるプレッシャーや速いパスの崩しに圧倒され、1対3で前半戦を終えました。気持ちを入れ直して後半戦に入りましたが、相手の勢いは止まらず、2対6のスコアで敗れ準優勝という結果に終わりました。

昨年度、仙台市に置き忘れてきた全国の舞台での戦いとプライドを取り戻しには行けませんが、大舞台での激戦の経験は、選手たちの人生に大きな糧になるものと願います。中谷町長様をはじめ、町民の皆様、ご声援ありがとうございました。（高橋）

環境 & 食育フェア 2017 in 吉賀高校

ー環境フェアー 活動報告

今年度から始動した環境チームです。6月23日（金）の環境×食育フェアで、「食品ロス」というテーマで発表しました。地域における食品ロスの現状を調査し、そこから地域の課題が見えてきました。そしてその課題をどう解決していくのかが、これからの環境チームの活動となります。今回の発表内容を論文にまとめたものをアサヒ若武者育成塾に応募したところ、8月3日～6日に行われる合宿に参加できることが決まりました。発表に向けて、多くの方に取材・調査に御協力いただき、ありがとうございました。これからもさまざまな活動を地域の方々と一緒に進めていきたいと考えていますので、今後とも御協力よろしくお願いします。（毛利）



ー食育フェアー 活動報告

6月23日（金）に「環境×食育フェア in 吉高」が開催されました。今年度は1部：吉賀高校地域クラブ環境チームによる発表、2部：森崎友紀さんによる講演「いのちを育む食の話」、3部：「みて・感じて・あじわって」食と環境のブースの3部構成で行われました。講演では、食材を捨てることなく使うための工夫レシピや外国の料理の紹介、食べることの大切さについてお話がありました。森崎さんからは日本独自の文化である「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶を大切にしてほしいという願いがありました。3部では、各自様々なブースを準備していただきました。草の庭さんの有機野菜や食改さんが作られた混ぜご飯の試食などもあり、楽しみ、味わいながら環境と食について考える良い機会となりました。（大賀美）

中高一貫教育だより

平成29年度がスタートして早いものでもう1学期が終わります。この間中高一貫教育として吉賀高校と町内4中学校とが連携し、英・数の授業交流、吉賀高校体験入学、各種検定試験、合同職員会議など、いろいろな活動が行われました。ご協力いただきありがとうございました。

夏休み中も、「よしか塾 2017 夏スタディーキャンプ」が8月8日（火）～10日（木）に林業総合センターで開催されます。吉高生及び吉高卒業の大学生による学習サポートを受けながらの4中学合同勉強会です。涼しい環境で、学習に燃えてもらいたいです。

新 旧 生 徒 会 執 行 部 役 員 交 代

7月6日（木）の生徒総会にて生徒会執行部の役員交代が行われ、2年生を中心とした新役員が決定しました。9月のよしか祭をはじめ、新役員が企画・運営する行事や諸活動にご期待下さい。まずは、大役を果たした旧生徒会長からの挨拶です。

【旧生徒会長退任の挨拶】 3年 寺戸 光輝

生徒会長に就任してからもう1年が経ちました。生徒会長になったのは人生で初めての経験で、最初から最後まで、ずっと不安と緊張の連続でした。特に就任した当初の大イベント、環境サミットの運営を任されたときに、今までにない緊張と不安が襲いかかりました。ですが、この出来事が自分を成長させる大きな経験になったなど、今では思っています。

また、特に印象に残っていることは、よしか祭での生徒会企画「イントロ・ドン」です。この企画が発案されるまで、生徒会ではまるで良い企画が出ず、発案してから、こういった構成で行うのかが決まらず、かなり苦勞をしました。ですが、この苦勞もあってか、よしか祭本番では、難なく進めることができ、よしか祭を盛り上げることができました。終わった後に生徒や先生方から「とても楽しかった」と言われ、とてもやりがいを感じられました。

生徒会が制作する「盛岳」は、アンケートからそのまとめなど、かなり手間のかかる作業でした。作成が終わるまで毎日放課後遅い時間まで学校に残って作業していたのでかなり辛かったのですが、執行部の皆と一緒に作業する時間はとても楽しく、良い思い出になりました。

生徒会長としての仕事は不安と緊張の連続で辛いこともありましたが、その分執行部の皆と一緒に企画を考えたり、進行するのはとても楽しく、代表挨拶の後に仲間や先生方から「良かったよ」と言われることがとても嬉しく、生徒会長をやっていて良かったなと思い、仲間や先生方、地域の方々の存在があったから自分は続けられたんだなと思いました。これからは新生徒会長を中心とした新執行部が一致団結して、吉賀高校をさらに良いものにし、より一層盛り上げてくれると思います。1年間未熟でしたが、自分なりにベストを尽くせたと思います。1年間本当にありがとうございました。

【新生徒会長就任の挨拶】 2年 秋山 一平

生徒会長：秋山一平 副会長：元満勇希 総務：木戸拓海 書記：泉 友媛 会計：森井晋作
文化・放送委員長：増野歩実 体育委員長：村上普善 保健委員長：榎木英紀子 図書委員長：黒田 健

今年度の生徒会執行部の活動目標は、「生徒全員が楽しいと思える学校をつくる」です。よしか祭等の行事では生徒全員が楽しむことができ、盛り上がるものになるように工夫し力を尽くしていきたいです。また、日々の学校生活も充実したものにし、生徒が楽しいと思えるような学校にしていきたいです。

今年度の生徒会活動テーマ兼よしか祭のテーマは「楽心（らくしん）～楽しんだ者勝ち～」です。執行部の活動目標にもあるように、生徒全員が楽しいと思うことのできるよしか祭にしたいと思い、このテーマにしました。そのために、生徒会では生徒一人ひとりに役割があるような企画を考え、運営していきたいと思っています。まだまだ未熟ではありますが、生徒会長としての自覚と責任感をもち吉賀高校を引っ張っていきたいです。生徒会執行部のメンバーと一緒に、前年度の生徒会に負けないようにこの吉賀高校を盛り上げられるように頑張りますので、よろしくお願いします。

先 輩 が 語 る

7月6日（木）、吉賀高校卒業生であり、広島六日市会会長である 石原照彦 さんによる講演会が行われました。高校時代や卒業後の写真をもとに実体験を語ってくださいました。語っていただいた内容の一部を紹介します。

- ・人生はドラマである。予測できない事が起きた後がドラマ、その後自分で作っていくのがシナリオだ。
 - ・人生の勝利もすべて勇気から始まる。
 - ・若いときに流さなかった汗は年老いて涙となって返ってくる。
- 今後の高校生活、卒業後の生活を歩むうえで教訓となる言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。（安達）



文 化 部 の 活 動

写真部 ー春季写真コンクールー

6月12日（月）、益田市の市民学習センターにて、春季写真コンクールが行われました。部員全員が5点ずつ出品しました。結果は特選4点（2年2組能美健生2点、1年1組下森清貴、1年1組山田伊織）、入選4点（3年1組永見雄大2点、2年2組能美健生2点）が入賞することができまし

た。特選の作品は、12月8日（金）～10日（日）、グラントワで開催予定の第45回県高校写真展に出品することが決まりました。（写真は特選作品：上左から能美「孤独」「明日へ」、下左から下森「自分のお気に入り

の場所」、山田「梅の花」）（毛利）



球 技 大 会 ・ 益 田 地 区 高 体 連 大 会 終 わ る

1 学期校内球技大会

7月10日（月）に校内球技大会が行われました。午前のバレーボールでは、男女とも2年生のチームが勢いに乗り、優勝しました。午後のバスケットボールでは、意地を見せた3年生のチームが、男女とも優勝しました。1年生もよく頑張り、男子のバスケットボールでは、第2位と健闘しました。各学年の団結力が感じられる、素晴らしい大会になったと思います。

男子バレーボールの部	優勝	2年生A	女子バレーボールの部	優勝	2年生A
男子バスケットボールの部	優勝	3年生B	女子バスケットボールの部	優勝	3年生A

益田地区総合体育大会

7月12日（水）に益田地区の各高校の代表が対戦する、益田地区総合体育大会が行われました。吉賀高校からは、男・女バレーボール、男・女バスケットボールの4種目に30名が出場しました。その結果、男子バレーボールと女子バスケットボールが優勝、女子バレーボールと男子バスケットボールが第3位と健闘してくれました。お互い励まし合いながら、一生懸命プレーする姿が印象的でした。大会を通じて、吉賀高校のチームワークの良さ、存在感を存分にアピールしてくれました。

男子バレーボール	優勝	女子バレーボール	第3位
男子バスケットボール	第3位	女子バスケットボール	優勝（上野城）